



事業のご報告
業績・戦略編

2016年3月期 第2四半期
(2015年4月1日～2015年9月30日)

トップメッセージ	1
「事業革新センター」の新設	3
コーポレートガバナンスの強化	4
連結業績のご報告	5
事業別業績	7
会社情報・株主情報	8
RL-Info	9

子は
開きを
おります。



表紙写真は180度見開きでご覧いただけます。

11月、山梨県楡形林道から望む朝日と富士山の
幻想的な一瞬を撮影しています。



糊付
製本

リコーリース株式会社 [証券コード: 8566]

〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12 www.r-lease.co.jp/



「売上高、四半期純利益ともに過去最高となりました。」

代表取締役 社長執行役員 松石 秀隆

当第2四半期連結累計期間(上期)におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景に雇用情勢は回復したものの、海外景気の下振れ懸念や企業業績の先行きに不透明感がみられました。リース業界では、2015年度上期のリース取扱高が前年同期比10.6%増加の2兆3,807億円(公益社団法人 リース事業協会統計)となりましたが、2013年度比ではマイナス2.1%と消費増税前の水準には戻っていません。

このような経済環境のなか、当社では前期よりスタートさせた3か年の中期経営計画(以下、中計)の2年目として、引き続きバンダー営業を軸として収益性を重視した優良資産の増大と、新しい成長領域の構築を図りました。その結果、総取扱高は前年同期比8.1%増加(2013年度比13.3%増加)の1,826億円とな

りました。売上高は前年同期比6.1%増加し、1,363億円となり、経費の増加を金融収益の増加で吸収したことで、営業利益は前年同期比1.6%増加の83億円となりました。四半期純利益は、前年同期比6.2%増加し54億円と過去最高を更新することができました。

通期の見通しにつきましては、期初計画通り、過去最高の売上高2,660億円、当期純利益108億円を目指してまいります。

当第2四半期の配当は、1株当たり5円増配の27円50銭とさせていただきます。通期では55円と、21期連続での増配*を予定しております。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

※2000年3月期の株式分割による実質増配を含む

「親会社株主に帰属する四半期純利益」および「親会社株主に帰属する当期純利益」をそれぞれ「四半期純利益」、「当期純利益」と表記しています。

■売上高・四半期純利益



■連結業績予想

	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (予想)	前期比 (%)
売上高	2,587	2,660	2.8
営業利益	165	170	3.0
当期純利益	101	108	6.5

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる場合があることをご通知おきください。

Q

中期経営計画の進捗についてお聞かせください。

A 中計の目標達成に向け、3つの改革:「事業」「プロセス」「人財」に着手しています。

前期からスタートした中計の目標を達成するためには、事業生産性の向上が不可欠であり、「事業」「プロセス」「人財」の3つの改革に着手しています。

「事業拡大」では、OCeaN(オーシャン)戦略のもとで、情報機器・医療ベンダー(販売会社)の契約シェア拡大を進めるとともに、リコグループとの協業範囲を広げることで、**事務・情報関連分野、医療・介護分野で業界No.1**を目指しています。また、新規事業開発室を新設し、農業や水素ステーションなど、新規分野での事業成長の可能性を探索するためのマーケティング活動を始めました。

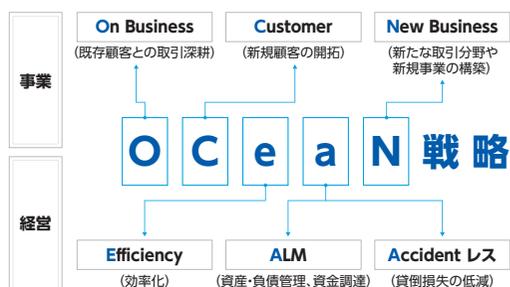
「プロセス改革」においては、事業革新センターを新設し、体制・人員を強化し、**全社横断的プロセス改革**を継続的に実行しています。

「人財育成」については、「人にやさしく、仕事

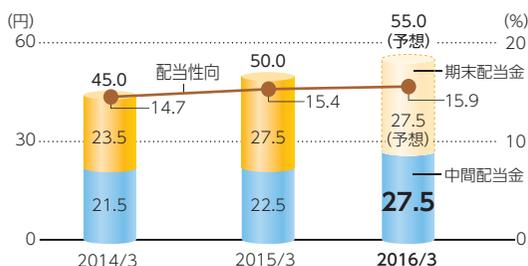
に厳しい]新人事制度を4月にスタートしました。チャレンジした人が評価される制度への切り替えを行う一方、育児・介護やワークライフバランスを考慮した支援制度を導入しました。この一環で男性社員の育児休業取得を推進する『育メン・チャレンジ休暇制度』を導入しました。

今後も、中期経営計画を基軸に、常に新しいことにチャレンジしていきながら成長を続け、企業価値向上の大海原(OCeaN:オーシャン)をつくっていきたいと考えています。

■OCeaN戦略



■配当金 (年間配当金)



「事業革新センター」の新設

お客様との接点を増やすため
効率的に仕事が進められるよう
全社を横断したプロセス改革を推し進めます。

取締役 常務執行役員
事業革新センター長
眞鍋 求



中期経営計画で掲げた3つの改革のひとつである「プロセス改革」を推進するために、営業本部の企画機能（営業統括部）と、業務本部の企画機能（業務統括部）を統合し「事業革新センター」を新設しました。

当センター設立の目的は、営業部門と業務部門に散在していたそれぞれのノウハウ・人財を集結し、社内構造改革を立案・推進することです。

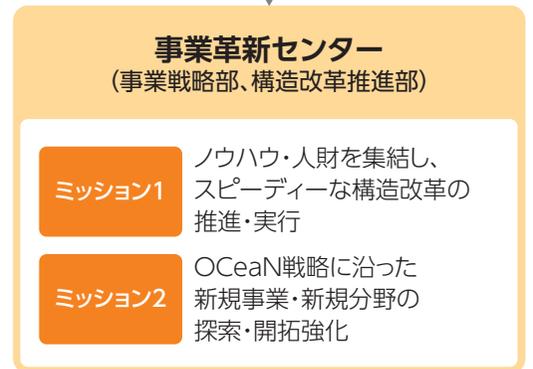
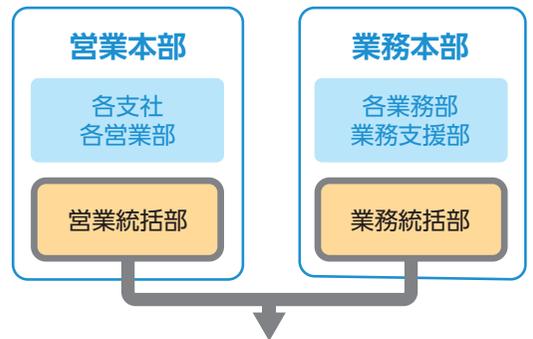
💡業務プロセスの見直しや再構築、情報システムの改善・開発などをスピーディーに進め、効率化を図ることで、各営業担当者のお客様接点活動の増加と、課題解決の提案力向上につなげます。そしてこの構造改革により、従来以上に充実した営業活動ができる体制を整備し、取扱高増大と利益創出を目指します。

今後も、お客様の期待にお応えできるサービスが提供できるよう、全社横断的プロセス改革に取り組んでまいります。

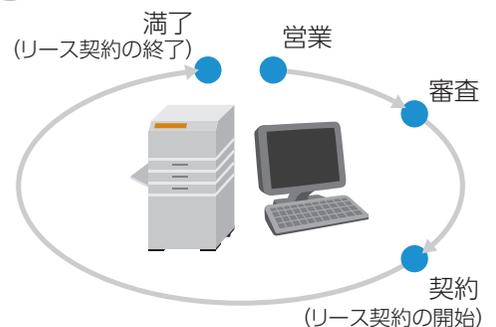


事業革新センター 事業戦略部長 舘 淳夫(右)
事業革新センター 構造改革推進部長 大淵 高明(左)

■組織統合のイメージ



💡業務プロセス



コーポレートガバナンスの強化

当社では、企業倫理と遵法の精神に基づき
経営の透明性を確保しつつ
競争力の強化を目指しています。

取締役 専務執行役員
経営管理本部長
長田 泰賢



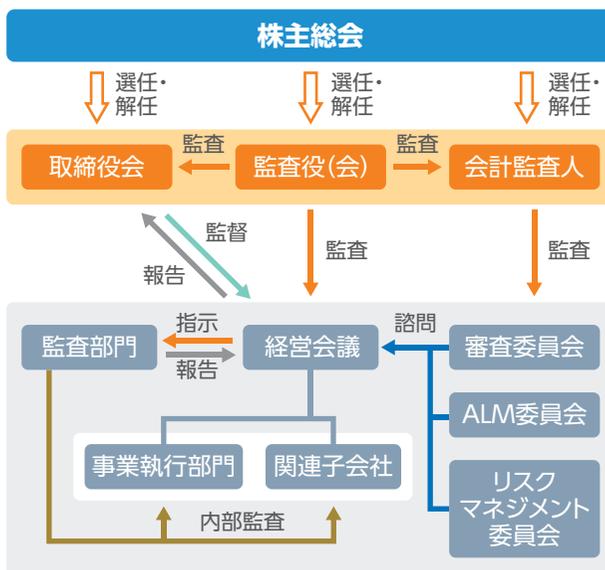
政府の成長戦略に大きく掲げられ、上場企業の統治の規範とされるコーポレートガバナンス・コードが策定・適用されました。当社を含め、企業は持続的成長を遂げて企業価値の向上を実現させていくために、ガバナンスの強化・改革が求められています。

当社では、取締役会、監査役会を会社経営機関として、コーポレートガバナンス体制を構築しています。また、執行役員制度を導入し、経営上の意思決定機能と事業執行機能を分離し、経営の効率性を追求しています。

取締役・監査役には、豊富な経験と高度な専門知識を持った独立社外役員を招聘し、さらなる発展を目指しています。

また、投資家や株主の皆様との対話にも積極的に取り組み、適時適切な情報開示にも努めています。

■コーポレートガバナンス体制



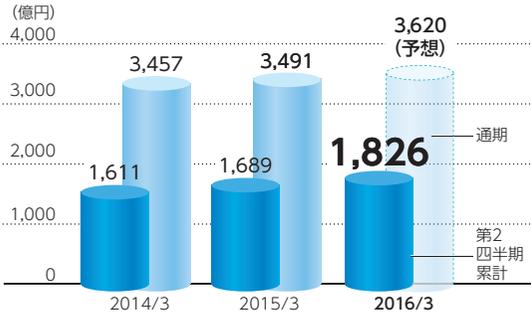
取締役会の様子

コーポレートガバナンス・コードについて

- ①株主の権利・平等性の確保
- ②株主以外のステークホルダーとの適切な協働
- ③適切な情報開示と透明性の確保
- ④取締役会等の責務
- ⑤株主との対話

コーポレートガバナンス・コードは、政府の「日本再興戦略」において日本の「稼ぐ力」を取り戻すための重要な施策の1つとされています。5つの基本原則の実践を通じて企業の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上が図られ、ひいては経済全体の発展にも寄与することが期待されています。

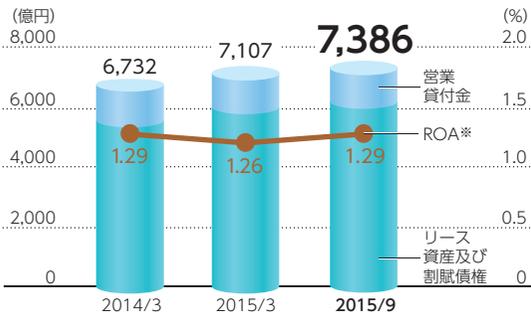
取扱高



前年同期比 **8.1%** 増 ↑ **過去最高を更新**

主力分野である事務用機器・情報関連機器は、パソコン更新需要の反動減から低調だったものの、新規分野として開拓中の環境関連分野などが伸びました。取扱高は前年同期比8.1%増加の1,826億円と、過去最高を更新しました。

営業資産



前期末比 **278** 億円増 ↑ **営業資産も続伸**

好調な取扱高により、営業資産残高は前期末に比べ278億円増加の7,386億円となり、前期末を上回る過去最高額となりました。

用語解説

※ ROA (総資産当期純利益率)

当期純利益 ÷ 平均総資産。

当社が目指す高収益体質の重要指標の1つ。



財務データを
読み解くポイント

(取扱高・営業資産・売上高の関係性)

新規に契約したリース料総額(取扱高)は、すぐに売上高に計上されるのではなく、営業資産として貸借対照表に計上されます。そして、その期にお客様から回収したリース料分が営業資産から減少し、売上高として計上されます(ストックビジネス)。つまり、リース売上高は5年間*の取扱高のほぼ平均となるため、安定した収入が特色となっています。

*当社のリース契約の9割以上が5年間の契約

取扱高

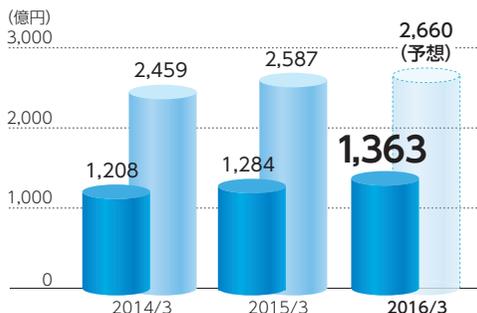
営業資産

売上高





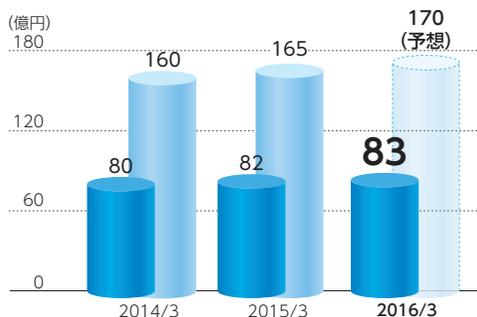
売上高



前年同期比 **6.1%増** ↑ **6期連続の増収**

売上高は、前年同期比6.1%増加の1,363億円と伸長し、過去最高を更新しました。リーマン・ショック以降増加し続けている取扱高により、リース料収入・割賦売上が増加しました。

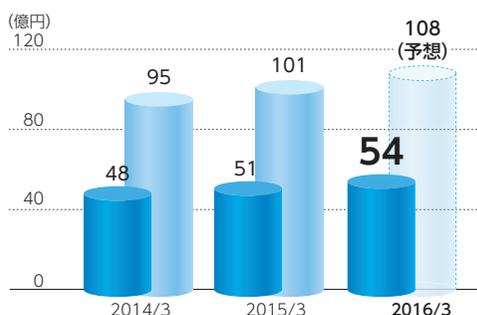
営業利益



前年同期比 **1.6%増** ↑ **2期連続の増益**

営業利益は、前年同期比1.6%増加の83億円と2期連続での増益となりました。市場金利低下に伴い利益率が下がり、リース・割賦事業での粗利は、ほぼ横ばいとなりましたが、金融サービス事業の収益増が貢献しました。

当期純利益



前年同期比 **6.2%増** ↑ **過去最高を更新!**

四半期純利益は、営業利益が増益となったことに加え、法人税率が低下したことで、前年同期比6.2%増加の54億円と2期連続増加しました。通期見通しは期初計画通り108億円と過去最高を更新する見込みです。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

科目	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	194	△14
現金及び現金同等物の四半期末残高	6	181

営業活動によるキャッシュ・フローは、194億円の収入となりました。取扱高が順調に増加したことで、リース物件など営業資産の購入が増えました(支出増)が、集金代行サービスの預り金の支払いが、祝日の関係で翌月にずれ込み、9月末に残ったことで収入増となりました。一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金などの返済を行い、14億円の支出となりました。

●リース・割賦事業

ポイント

- 取扱高は3期連続で過去最高を更新
- 医療機器・環境関連機器などが伸長
- 営業利益はリース粗利率の低下から前年同期並み



取扱高 **1,687** 億円 / 前年同期比 **7.3%増** ↑

■ 売上高(左軸) 前年同期比 **5.9%増** ↑
 ■ 営業利益(右軸) 前年同期比 **0.9%減** ↓



●金融サービス事業

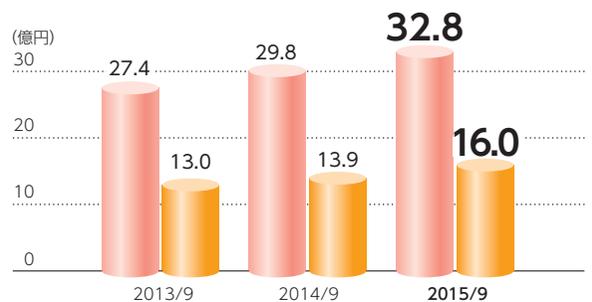
ポイント

- 売上高は10期連続の増収を達成
- 営業利益は過去最高を更新
- 集金代行サービス、介護報酬ファクタリングサービスともに順調に推移



取扱高 **139** 億円 / 前年同期比 **18.6%増** ↑

■ 売上高 前年同期比 **10.1%増** ↑
 ■ 営業利益 前年同期比 **15.2%増** ↑



株主メモ

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先
☎ 0120-782-031

株式に関する住所変更などの
お届出及びご照会について

証券会社に口座をお持ちの場合 ▶ お取引の証券会社にお申し出ください。
 特別口座の場合 ▶ 上記三井住友信託銀行にお申し出ください。

会社概要

商号	リコーリース株式会社 (RICOH LEASING COMPANY, LTD.)
資本金	7,896百万円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8566)
従業員	942名(連結)
設立	1976年12月
事業内容	リース・割賦事業 金融サービス事業
財務局ナンバー	関東財務局長(11)第00286号

役員

取締役		執行役員	
代表取締役	松石 秀隆	社長執行役員	松石 秀隆
取締役	長田 泰賢	専務執行役員	長田 泰賢
取締役	吉川 淳	常務執行役員	吉川 淳
取締役	眞鍋 求	常務執行役員	眞鍋 求
取締役	佐藤 邦彦	常務執行役員	清見 純子
社外取締役*	志賀 不才	執行役員	中島 祥行
		執行役員	武藤 裕文
		執行役員	中村 徳晴
		執行役員	高木 明人
		執行役員	山田 裕治
		執行役員	佐野 弘純

*印を付した取締役・監査役は株式会社東京証券取引所の実定独立役員です。

営業拠点

北海道から沖縄まで、
リコーリースは日本全国をカバーしています。

北海道	札幌／旭川
東北	仙台／盛岡
関東	東京(本社・テクノレント)／立川／横浜 千葉／さいたま／宇都宮／水戸
中部	名古屋／静岡／金沢
関西	大阪／神戸／京都
中国・四国	広島／岡山／高松／松山
九州	福岡／熊本／那覇



各営業拠点の住所と連絡先は、
HPをご覧ください。

リコーリース 事業所一覧

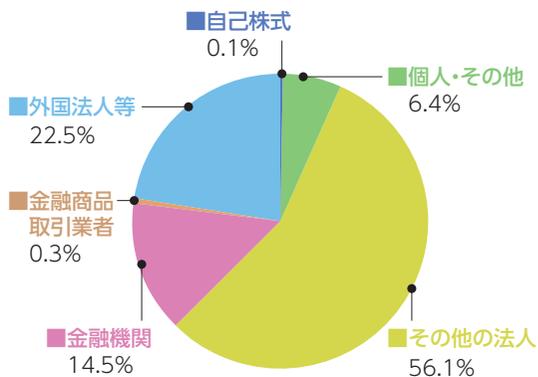
www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html

[トップページ](#) [企業情報](#) [事業所一覧・地域展開](#)

株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,243,223株
株主数	15,980名(単元株主数 12,094名)
単元株式数	100株

[株式分布状況]



大株主上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社リコー	16,540	53.0
全国共済農業協同組合連合会	1,233	4.0
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,070	3.4
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	848	2.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	740	2.4
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	557	1.8
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/INV 10	546	1.8
コカ・コーラウエスト株式会社	502	1.6
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	401	1.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	376	1.2

*持株比率は自己株式(26,415株)を控除して計算しています。

RL-Info

Ricoh Lease Business Information

当社は「リース・割賦事業」、「金融サービス事業」の2つの事業を軸に、お客様のニーズにお応えすることで、お客様とともに成長していきます。

お客様へ付加価値の高いサービスを提供

リース・割賦で取引のあるお客様を中心に、多種多様な金融サービスを提供し、お客様の課題解決をサポートします。



法人向け
融資



集金代行
サービス



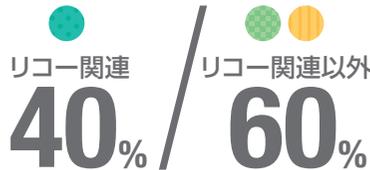
介護報酬
ファクタリング
サービス



グローバル
マネーカード

金融
サービス
事業

取扱高^{※1}の内訳



リース・
割賦事業

リコーグループの 販売を支援

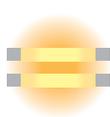
当社はリコー製品の販売支援を目的に設立されました。独自の「販売支援リース」のノウハウを蓄積しお客様やベンダー^{※2}の期待にお応えします。



複写機・複合機



印刷機



LED照明



プリンター



プロジェクター

お客様のニーズに応じた さまざまな設備導入を支援

事務用機器・情報関連機器だけでなく、医療機器や環境関連機器などさまざまなベンダーとともにお客様のニーズに応じた設備機器の導入を支援します。



事務用機器・
情報関連機器



医療機器



環境関連機器



車両・輸送用機器



産業工作機械



営業資産 7,386億円 (2015年9月末)



中小企業
比率

98 %



中小企業中心のお客様基盤



取引社数

40万社



少額・大量契約により
貸倒れリスクが分散された
優良な営業資産を形成



平均
契約単価

210万円



貸倒率^{※3}

0.19 %



安定した収益体質を実現



取引
ベンダー数

6,000 社



ベンダーとの連携により
お客様の設備導入を支援する
販売支援リースを展開



事務処理
件数

120万件



高効率・高品質な業務体制

ITシステムの導入や日々の業務改善により、
大量の事務処理を効率良く処理する体制を構築



格付^{※4}

A

S&P(Standard & Poor's)

A+

R&I(格付投資情報センター)

AA-

JCR(日本格付研究所)



外部格付機関から高い格付を取得
好条件での資金調達を実現

上記データは、2015年3月期のものです。

※1 取扱高：リース、割賦および融資として契約実行した金額の総額。

※2 ベンダー：リコーグループの販売会社、事務用機器・情報関連機器、医療機器や環境関連機器等を扱うメーカーや販売会社など当社にとって重要なパートナー。

※3 貸倒率：貸倒損失額÷営業資産の平均残高。

※4 格付：第三者である格付会社が、資金調達者の債務履行能力または個別債務(社債、ローン、CP等)の履行確実性を判定・表示したものです。

社外役員インタビュー

2015年、当社初の女性社外取締役役に就任した志賀氏と、2010年の就任以来当社の社外監査役を務める小林氏に当社の現状と今後あるべき姿について意見を伺いました。

社外取締役・社外監査役 それぞれの役割について

志賀

社外取締役の役割とは、業界外の人間として疑問に思うことや意見を隠せず伝えることに尽きると思います。法曹界でも裁判員制度が始まって、一般市民の感覚と大きくずれがあるのを思い知らされました。



社外取締役 | 志賀 こず江

1967年 日本航空株式会社入社。
1993年 検事任官。
1998年 第一東京弁護士会登録。
2015年より当社社外取締役。

小林

社外監査役は、「社外の目」で中立的な立場から客観的な意見を述べる役割を期待されています。そのため、当社が善良な企業市民として社会から何を求められているかを意識して発言するよう努めています。



社外監査役 | 小林 貞五

1968年 東京弁護士会に登録。
1991年 小林法律事務所を開設。
2010年より当社社外監査役。

ご自身から見たリコーリースは？

志賀

就任後4カ月ほどしか経過していないので、まだわからないところはたくさんありますが、上下左右、さまざまな立場から、それぞれの意見が言い合える環境が整っているのではないかと感じています。

小林

当社はCSR活動を含む企業活動全般において第三者からも高い評価を得ています。社外監査役としては、会社の業績は堅実であり、かつコンプライアンス意識も定着していると評価しています。

これからのリコーリースに 求められることは？

志賀

女性活躍推進法の施行もあり、唯一の女性の取締役としては、ぜひとも、女性が輝いて働ける職場づくりにおいて、一歩も二歩も先んじる企業であってほしいと思います。

小林

当社は、販売支援を強みに発展してきましたが、引き続き、時代に合った業種、業態を選択し、成長し続けることが求められています。そして、将来的にはリース業界の最上位グループに定着することを期待します。





IRひろば

株主の皆様とのコミュニケーションページです。

第39回定時株主総会のご報告



- 開催場所：ホテルイースト21東京 1階 イースト21ホール
- 所要時間：76分
- 出席株主数：633名



株主総会の様子は動画でご覧いただけます。

リコーリース 株主総会

検索

www.r-lease.co.jp/ir/stock/shmeeting.html

[トップページ](#) [IR情報](#) [株式・社債情報](#) [株主総会](#)

2015年6月16日、第39回定時株主総会を開催しました。質疑応答では、11名の株主様より貴重なご意見・ご質問をいただきました。ホームページでは全質疑を掲載していますが、ここではその一部をご紹介します。

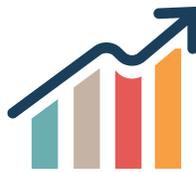
現在、女性の常務執行役員1名と、部長課長クラスには優秀な人材が多く揃っています。研修および人事ローテーションにより計画的に育成し、将来的にはぜひ役員を増やしたいと考えています。

Q

女性社員の比率が高いが、将来の役員候補はいますか？

▼OCean戦略の詳細についてはP2をご覧ください

国内リース取扱高が減少に転じているなか、当社が取扱高を伸ばすことができたのは、何といても社員の頑張りだと考えています。特に、中期経営計画で掲げているOCean(オーシャン)戦略に果敢にチャレンジした成果だと考えています。



Q

業界全体のリース取扱高が9%落ち込むなか、当社は1%伸ばしている。業界水準を10ポイントも上回ることができた要因は何ですか？

Q

社員の有給休暇取得率を教えてください。

2014年度の有給休暇取得率は65%です。当社では、※「ワークライフ・マネジメント」の取り組みの一環として、誕生日等の記念日に休暇を取得する『記念日休暇』を年6日設定しています。社員の取得率も高い状況にあり、また役員も積極的にこの制度を利用して、リフレッシュを図っています。

※ワークライフ・マネジメント

仕事と生活の時間配分のバランスだけを意識するのではなく、双方を自ら積極的にマネジメントすること。

株主総会で決議された女性の社外取締役についてはP11をご覧ください





CSR活動のご報告

持続可能な社会の実現に向けて、継続した取り組みを進めています。



ファミリーデー開催

ダイバーシティ&ワークライフ・マネジメントの二環として、社員子どもたちを会社に招待し、社員・家族・会社組織の相互理解を深めることを目的とした、ファミリーデーを開催しました。小中学生22名が参加し、名刺交換や親の職場訪問などを体験しました。



初めての
名刺交換にドキドキ

お父さん、
いつも大事なお仕事
してるんだね

社長室で
お話をしたよ

最後は記念写真
楽しかった!!



富士山緑化活動

2005年から毎年継続している富士山緑化活動を今年も実施しました。これまでのヒノキの枝下ろし作業に加え、シカ避けの柵の補修作業も行いました。



シカ柵の補修の様子/シカが国有林を食糧とするのを防ぐために、シカ柵の設置と補修が必要

用語解説 CSR: C(Corporate:企業の)S(Social:社会的な)R(Responsibility:責任)のことです。

CSR活動の詳細はHPをご覧ください。
リコーリース CSR

www.r-lease.co.jp/csr/ [トップページ](#) [CSR](#)

NEWS
7月にCSR報告書2015を
発行しました。





社名: テクノレント株式会社
TECHNO RENT CO.,LTD
本社: 東京都港区芝浦4-13-23
MS芝浦ビル 5F
設立: 1983年11月30日
従業員数: 184名(2015年9月現在)
www.techno.co.jp/



代表取締役 社長執行役員 吉川 淳

「テクノレント」について、教えてください。

教えて！リコーリース

このコーナーでは株主の皆様からのさまざまな疑問にお答えします。

2005年から当社の関連会社となったテクノレントについてご紹介します。

テクノレントでは、複合機の短期、長期レンタルをはじめ、パソコン等の情報機器、計測器のレンタルサービスを提供しています。レンタル事業の商品ラインナップは1万6千種類、21万点にも及びます。そのなかでも事務用機器は、リコーグループの総合力を活かし、レンタルだけでなく、運用支援を行うなど、さまざまなサービスを提供しています。



計測器の校正

Pick Up

付加価値の高いサービスを提供しています。

テクノレントの強みは付加価値の高いレンタルサービスにあります。

主力商品の「イーレンタルサービス」は、PCライフサイクル(左図)全般に関わるサービスです。パソコンの調達から、故障時の障害対応、レンタル終了時のデータ消去や廃棄など二連の業務をお客様に代わって行うことで、業務負担を軽減します。



PCライフサイクル

企業がパソコンを使用・管理する上で発生する一連の作業

これからもがんばります!



研修
終了!!

お客様のニーズをいかに
引き出せるかがカギ!



4 営業

お客様の課題や要望に応じて、最適な商品やサービスを提供する「提案型営業」を目指しています。

法令を遵守し、
誠実かつ公正に
業務を行っています。



3 債権管理

期日までにリース料の入金が確認できなかったお客様へお知らせします。状況を把握しながら的確な対応を行います。

1件1件
丁寧な対応を
心掛けています。



2 契約・満了

リース契約時の書面チェックや電話確認、満了(契約の終了)のご案内など、お客様のお問い合わせに迅速に対応します。

いろいろな工程を通して
無事契約が成立するんだね



2015年度・新入社員と一緒に学ぶ！ リース営業マンへの道のり

リース業務の内容を首都圏支社・営業配属の
新入社員の研修に沿ってご紹介いたします。

私たちの研修を通じて
リース業務をご紹介します！

研修
スタート!

一人前の営業マンを 目指して

リコーリースでは、契約のお申し込みから終了まで、お客様に安心してリースをご利用いただけるよう、営業と業務の担当者が、日々連携しています。

リース契約には、終了するまでさまざまな工程があります。なかでも、「審査」「契約満了」「債権管理」の3つは、リコーリースの営業マンが最初に習得すべき重要な業務です。そのため、新入社員の研修でも、各現場での実務研修が教育プログラムとして組み込まれています。

今回は、この春リコーリースの一員となった新入社員の研修を通じて、リースの業務プロセスを解説します。

1 審査

リース契約をお申し込みいただいたお客様の「審査」を行います。自動審査システムを用いて、迅速かつ適正な審査を行っています。

お申し込み内容を
素早く確認し、
対応します。



首都圏支社
営業配属



鳥海 奨

黄 郁晴

近藤 健太

松本 紫歩

青木 大輔



ファクタリングを扱う会社が複数あるなか、他社では取り扱っていない訪問看護サービスのファクタリングが利用できる点評価し、リコーリースを採用させていただきました。当社は介護・看護と幅広くサービスを提供しているため、リコーリースのサービスの対応範囲の広さや柔軟性に魅力を感じています。

Q リコーリースを採用した理由は？

お客様の声

柔軟性の高いサービスに魅力

株式会社ひかりケア様(東京都練馬区)は、介護を必要とする高齢者の方へデイサービスや訪問介護、訪問看護などのサービスを提供しています。今回は、大柿社長にお話を伺いました。

Q 今後期待することは？



株式会社ひかりケア
代表取締役 大柿 恵司 様(左)
リコーリース 介護ビジネス推進室
斎藤 文貴(右)



ファクタリングサービスを導入後、ウェブサイトの「けあコンシェル」を紹介いただきました。法改正や助成金等の業界情報の収集に大変役立っています。今後も、ファイナンス面以外でのさらなる介護事業の運営支援を期待しています。



ここが違う! リコーリース

1 お客様のニーズに合わせてサービスを提供できる商品力と柔軟性

当社の「介護報酬ファクタリングサービス」は、取り扱う対象債権の幅広さが特長です。

■ 介護報酬ファクタリングサービスの対象範囲(他社比較)

	介護報酬債権	介護予防・日常生活支援総合事業費債権	訪問看護療養費債権
リコーリース	◎	◎	◎
A社	◎	◎	×
B社	◎	×	×

※介護予防・日常生活支援総合事業費債権については、一部取り扱いできない債権がございます。

2 介護事業者の方々に有用な情報をお届け

介護事業経営支援サイト「けあコンシェル」では、介護事業に関するさまざまなお役立ち情報をご覧いただけます。



詳しくはHPをご覧ください。

けあコンシェル 検索

介護報酬ファクタリングサービスの強み

介護報酬ファクタリングサービス

今回は「介護報酬ファクタリングサービス」について解説します。



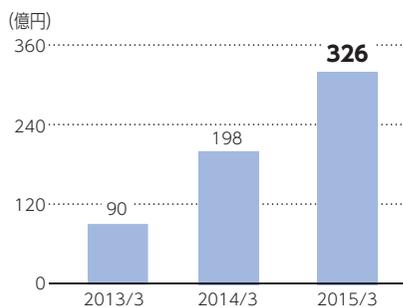
介護保険給付費の前払いで支援

介護事業者の方々は、国民健康保険団体連合会（国保連）から介護報酬を受け取るまでに約2カ月かかります。「介護報酬ファクタリングサービス」はこの介護報酬債権等を当社が前払いし、早期資金化を実現するサービスです。資金繰りでお悩みの介護事業者の方々に、このサービスをご利用いただくことで、人件費などの運転資金を支援しています。

最良のパートナーを目指して

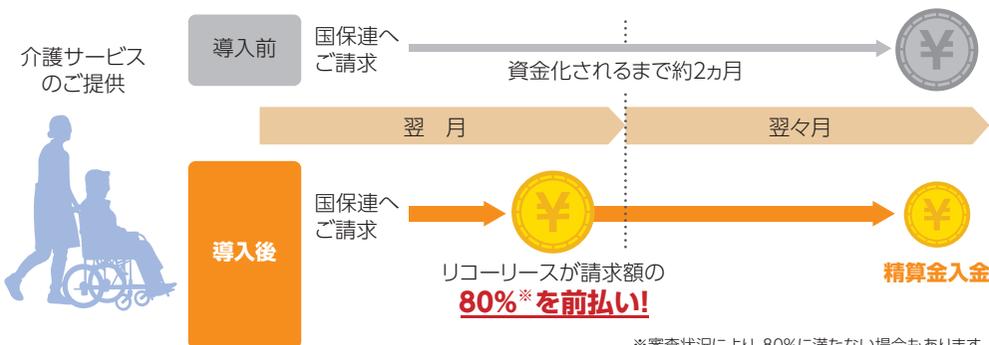
高齢化社会の進展とともに、介護マーケットが急激に拡大しています。今後も、本サービスのほか、「リース・ローン」などで介護事業者の方々に金融面で支援できるサービスを展開し、開業から事業の運営、拡大まで、あらゆるステージを支えるNo.1パートナーを目指します。

■介護報酬ファクタリング取扱高



■介護報酬ファクタリングサービス

通常2ヵ月かかる入金を1.5ヵ月早く資金化





事業のご報告 事業理解編

2016年3月期 第2四半期
(2015年4月1日～2015年9月30日)

特集① 介護報酬ファクタリングサービス	18
特集② リース営業マンへの道のり	16
教えて! リコーリース	14
CSR活動のご報告	13
IRひろば	12
RL-Info	9

本冊子は環境に配慮した製本方法を採用しています。
[各マークの詳細はHPをご覧ください] www.r-lease.co.jp/ir/stock/repo_eco.html



リコーイメージングのカメラで撮影しました。

製品等詳細はHPをご覧ください。

リコーイメージング製品

検索



本冊
両面刷
採用して

リコーリース株式会社 [証券コード: 8566]

お問合せ先: 経営企画部 TEL: 03-6204-0608 E-mail: ir@rle.ricoh.co.jp